

A2 アニメーションの仕方

1 ダウトをさがせ (アニメーターの読み間違いを子供が正しい当てるクイズ)

時数	学習内容	指導の手立て
1	<p>① アニメーション「ダウトをさがせ」の仕方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が読み聞かせをした言葉と違った言葉があれば、発表する。 <p>②「ダウトをさがせ」に使う絵本を決め、ダウトの部分を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダウトを決めて、ワークシートに記入する。 ・読む練習をする。 <p>③ グループで「ダウトをさがせ」クイズをやる。</p> <p>④ 授業を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ダウトの意味を言い、簡単な短文で1度練習する。(例 まほうのくすり、アブラカタブラ→まほうのくすり、カタブラアブラ) ・ダウトの部分は考えておく。 ・読み聞かせの後、「ダウトをさがせ」をする。本は、児童が内容を知っている昔話がよい。 ・昔話や導入が楽しい本を用意する。 ・全部読むと長い本は、1ページに1つずつのダウトを作ってもよい。 ・ダウトの言葉作りに時間がかかる児童がいるので、一文字だけ変える、似た言葉を入れる、などの助言をする。 ・ダウトの部分になると、笑ったり、つかえたりすることが多いので、何度も練習させる。 <p style="background-color: yellow;">→ワークシート<1></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ同士で声がよく聞こえるので、席をなるべく離す。 <p style="background-color: yellow;">→ワークシート<1></p>

使用絵本

『てのひらむかしばなし』(岩波書店)

『日本の民話えほん』(教育画劇)

1 先生の「ダウトをさがせ」クイズは答えられましたか？

2 自分が選んだ本の名前を書こう。

--

3 ダウトを決めて、読む練習をしよう。

もとの言葉	ダウト
①	
②	
③	

4 グループの友達の「ダウトをさがせ」クイズをやってみよう。

友達の名前	答えられたかな
①	
②	
③	
④	
⑤	

5 じゅぎょうをふりかえろう。

(1) 自分で「ダウトをさがせ」クイズを作ったり、発表したりして思ったこと。

(2) 友達の「ダウトをさがせ」クイズに答えて思ったこと。

(3) 友達が、「ダウトをさがせ」クイズで使った本を読んでみましょう。読めたら感想を書きましょう。